

## 4. 公共交通の利用実態調査

青梅市内を運行する全バスシステムの全便について、バスOD調査を実施し、バスの利用状況やバス利用者に対するアンケート調査などから利用実態を把握した。

以下にその概要を示す。(詳細は「参考資料3 公共交通の利用実態調査」参照)

### (1) OD調査実施概要

#### ① 調査実施日

平成24年3月27日(火)

#### ② 調査内容

青梅市内で運行する以下の系統について、利用者の乗車区間、属性等(性別、年齢層、利用目的、乗車券種別)を調査した。

- 都営バス・西武バスは、始発から終発までの全便について、添乗調査員による調査を実施
- 西東京バスは、全便の利用状況は運賃器データを基本として把握、乗務員による降車人数のカウント調査(総利用者数の把握)と、サンプル的に添乗調査員による調査(個人属性や券種の把握)を実施

### (2) ODデータの補正

得られたODデータについては、以下の2点について補正を行った。

- OD調査の実施時において、乗車時の調査カード受け取り拒否や、降車時のカード未回収があり、データの一部に降車バス停が不明のデータがある。(乗車バス停については調査員の記録により取得している)
- 実施日が3月27日(火)のため、通常はバスを利用していると考えられる高校生等の通学交通が、春休みのため捉えられていない可能性がある。

### (3) OD調査実施結果

- 青梅市内を運行するバス系統のうち、梅70、梅76丙、入市32、河11、小02・03は平均乗車密度が10人前後の高い利用状況となっている。
- 一方、公共負担の対象系統のうち、梅74甲、梅76甲・乙、梅77甲・甲折返、梅77丙、河14は、平均乗車密度が5人未満の低い利用状況となっている。

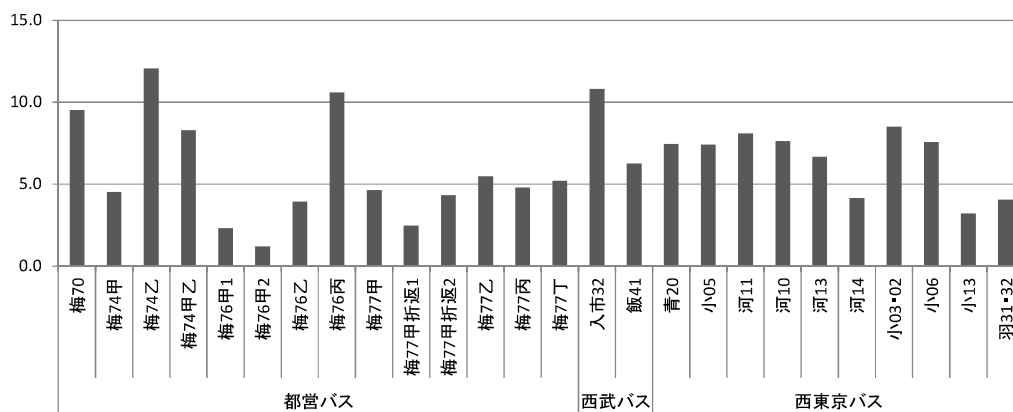


図 4-1 青梅市内バス系統の平均乗車密度

※河13・小13・小06は、春休みのため通常時の学生利用は含まれていない